

# 英語 学習の手引き

## 1 英語をなぜ勉強するのか

「むずかしい数学や日常あまり使うことがない英語をどうしてやらなければならないのだろう」と疑問に思う人もいれば、高校に入学するのに必要だからと考える人もいるかもしれません。確かに毎日の生活の中で使う数学は、たし算、ひき算、かけ算、わり算や時にはパーセントを出すくらいの小学校で学んだ算数で十分間に合います。また、英語は高校入試には出題されますし、大学に進学希望をする人は学ばなければならないものです。しかし、義務教育の中学校では、それだけが学習のめあてではないのです。どの教科も、今すぐに生活には役立たなくとも、それらの知識、技術、態度あるいは体力が将来の社会人としての教養をつくり上げるための大切な基礎になるのです。つまり、中学校三年間の学習を通して、ものの見方や考え方を広め、高め、深めて豊かな人間になるための基礎を作ることがねらいなのです。そして、そのような教養の土台をつくるには、中学生という年代が一生のうちで最も適当な時期なのです。その理由の一つは、「自分」という意識が強くなって、一人立ちしようという気持ちが強くなっていく時期だということがあります。もうひとつの理由は、みんなの中にある生まれた時からもっている能力（記憶力、判断力、推理力など）がもっとも発達する年代であるからです。さらに、身体的にも成長が速く、たくましくなってきます。この年代に自分を磨き、伸ばす努力をしないと、いくら良い素質をもっているとしても、それが十分働かないうちに役に立たなくなってしまうのです。数学の筋道を通した考え方や、社会の歴史を学習することや理科で電気や生物のことを学んだりすることなど、そうした力を伸ばすことに役立っているのです。つまり、自分自身をより高めるために、心も身体もいっそう伸ばし、豊かな教養を身に付け、将来、よい社会人としての土台づくりのために中学校でいろいろな教科の学習をします。

### (1) 教科の特色にあった学習のしかたをすること

中学校の9教科には、それぞれのねらいがあり、そのねらいによって学習の仕方にも違いがあります。英語のねらいや特色をしっかりとつかむことがまず大事です。そしてそれに合った学習をしていくことが大切です。

### (2) それぞれの教科の学習の順序を知ること

数学と国語では、一時間の授業の進め方が違います。その違いを知るとは、自分で学習する時も、何のため、どんなことを、どのように学習すればよいかかわってきます。また、授業の時も次に「こんなことをするんだな」と心の準備もでき、よく理解することもできるわけです。そうすると自主的な学習ができるようになるのです。

### (3) 学習の準備をよくすること

学習のねらいや順序がわかれば、それに合った学習に対する準備をしなければなりません。準備には心の準備と物の準備があります。心の準備は、その授業の予習をすることによってできるものですが、物の準備の両方とも大事なことで、どちらが欠けても学習が十分できないこととなりますので、この2つの準備を忘れないようにしましょう。

### (4) 予習をしっかりとすること

予習は、授業への興味・関心を高めます。予習をすると、授業の中で分からなかったことが分かり、分かったつもりでいたことが確実に身に付きます。

## 2 英語学習のねらい

やさしい英語を読んだり、聞いてその意味が分かったり、簡単なことを英語で言ったり、書いたりできるようにすることが英語学習のねらいです。また、英語の学習を通してことばに対する関心を深め、外国の人々の生活やものの見方などについて知るといことも英語学習の大事なねらいです。英語の学習には自分から進んでやろうとする気持ちが大切です。少し分からなくなったからといって途中で投げ出したりせずに、粘り強く毎日繰り返し練習することが英語の学力の向上につながります。

### 3 授業の約束

#### (1) 準備物

英語の授業では、次の準備物が必要です。

教科書          ノート          ワーク          筆記用具

#### (2) 学習

授業中の勉強が一番大事という考えで、先生の説明や友達の発言に集中して聴くこと、また、進んで発言することが基本です。

個人読みでも、一斉読みでも口を大きく開け、はっきりと大きな声を出す。音声がないことばの学習というのはありません。

板書したことだけでなく、先生の説明などの大事なことはすぐにメモをする。書くことによって気持ちが集中するものです。

- ・ノート左側には教科書の本文を写します。左下は自己表現を書く欄です。開けておきましょう。
- ・ノート右側は新出単語を縦に並べて書きます。読み方と日本語の意味は事前に調べておこう。授業中や家庭学習での疑問点を進んで質問しましょう。

### 4 家庭学習について

少しずつでも、毎日続けて勉強することが英語学力の向上に結び付きます。学校での授業は週3時間です。この時間は日本人が英語を習う時間数としては十分とは言えません。英語のような教科は毎日連続して学習することが必要です。今日習ったことを次の時間まで覚えておくことは、絶対に必要なことです。学校での授業がなかった日でも、家で勉強するように心掛けましょう。

(1) 復習...宿題を確実にやってくる。授業の終わりに先生が宿題の指示をしますが、次のような学習が宿題として出されます。(その日に習ったところの本文の音読、ワークブック、教科書本文の視写(要約、暗記)、新出単語の練習や基本本文の暗記)

(2) 予習...次の学習の単語の意味や発音を調べる。本文の意味を調べる。本文を読んでみる。暗記を試みる。

#### (3) 発展した学習

A L Tの先生に習ったことを使って話し掛けてみる。

テレビやラジオの英語講座を聞いてみる。

インターネットや手紙を通して英語で文通してみる。

英語で日記を書いたり、簡単な物語を読んでみる。

### 5 評価について

英語の評価の観点は、次の4つです。

#### 【英語への関心・意欲・態度】

強い意欲をもち、英語に慣れ親しみ、文を用いて積極的にコミュニケーションを図る態度や辞書などを用いて英語を知ろうとする意欲がある。

#### 【英語の理解の深さ】

身近なテーマを扱った会話や物語を聞いたり、読んだりして話し手や書き手の意向などを理解することができる。

#### 【英語の表現・技能】

英語を用いて身近なことについて正しく発音したり、正しいつづりや語順で書くことができる。

#### 【英語の知識・理解】

英語の学習を通して、日本語と英語、その背景にあるものの考え方や文化などを理解する。基礎・基本的事項を十分に身に付けている。

以上について、より具体的に述べると、おおよそ次のようになります。

観点	具体的な事柄
<p><b>【英語への関心・意欲・態度】</b> 強い意欲をもち、英語に慣れ親しみ、文を用いて積極的にコミュニケーションを図る態度や辞書などを用いて英語を知ろうとする意欲がある。</p>	<p>辞書を積極的に活用し、未習語などを自ら進んで調べる。 積極的に音読に取り組もうとしている。 間違いを恐れずに話したり、読んだり、書いたりしようとしている。 話される内容をメモなどを取り、積極的に聞こうとする。 授業道具の準備や宿題などを忘れることがない。 ラジオ放送や文通などを定期的に行っている。 A L T の母国語の生活、風俗、習慣などの話を聴いて質問するなど、異なった文化を理解しようと努めている。</p>
<p><b>【英語の理解の深さ】</b> 身近なテーマを扱った会話や物語を聞いたり、読んだりして話し手や書き手の意向などを理解することができる。</p>	<p>語句や文の意味を絵や実物と結びつけて理解することができる。 読まれたり、話された相手の意向を十分に理解し、細かい表現の違いを理解している。 登場人物などの気持ちが表れるように音読することができる。</p>
<p><b>【英語の表現・技能】</b> 英語を用いて身近なことについて正しく発音したり、正しいつづりや語順で書くことができる。</p>	<p>発音やアクセントなどに気をつけながら、相手に伝わるように正しく話すことができる。 あいさつ、質問、指示、依頼などに適切に応答することができる。 教科書の対話文などをもとに自分の立場に置き換えて尋ねたり、答えたりすることができる。 英語の質問を聞いて、英語で正しく答えたり、質問したり、書いたりすることができる。 語句や文を正しく、ていねいに手早く視写することができる。</p>
<p><b>【英語の知識・理解】</b> 英語の学習を通して、日本語と英語、その背景にあるものの考え方や文化などを理解する。基礎・基本的事項を十分に身に付けている。</p>	<p>異文化に関する題材について図書やインターネットで調べたりするなど異文化理解に熱意があり、知識として身に付けている。 語の意味や文法、句型など日本語と英語の違いに興味・関心をもち、知識を十分に備えている。</p>

このような力を

<p>普段の授業での様子 定期考査など</p>	<p>ノートやワークへの提出</p>	<p>課題プリントへの取組</p>	<p>小テスト</p>
-----------------------------	--------------------	-------------------	-------------

で総合的に見ていきます。